

令和5年度  
全国学力・学習状況調査の結果概要

忠岡町教育委員会

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査 忠岡町結果概要公表について

## (1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## (2) 調査の対象学年

- 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年  
(令和5年4月18日に調査を実施した学校・児童数 大阪府975校 70,277人)
- 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年  
(同学校・生徒数 大阪府470校 66,746人)

## (3) 調査の内容

- ①教科に関する調査 ・小学校等 【国語・算数】 ・中学校等 【国語・数学・英語】
- ②質問紙調査 ・児童生徒に対する調査 ・学校に対する調査

## (4) 今年度調査の特徴

- ・今年度の教科に関する調査は、国語、算数、数学に加えて英語（中学校のみ）を4年ぶりに実施。
- ・児童生徒質問紙調査は、今年度も一部の学校で、学習者用端末を使ったオンラインによる回答方式で実施。
- ・紙面で実施する調査の後日実施は、4月19日（水）から4月28日（金）まで可能。
- ・英語「話すこと」調査は、当日実施校と期間内実施校があり、期間内実施校は、4月19日（水）から5月26日（金）までの期間で実施。

## (5) 調査の方式 悉皆調査

## (6) 調査を実施した忠岡町の学校・児童生徒数

- 実施校数 ・小学校：2校
- 実施児童生徒数 ・小学校：124人
- ・中学校：1校
- ・中学校：131人

## 公表に関する配慮事項について

令和5年度 全国学力・学習状況調査実施要領に基づき、次の点に配慮し公表する。

- 忠岡町教育委員会は、保護者や地域の住民に対し、町内における教育及び教育施策に関する説明責任を果たす観点から、調査結果を公表する。
- 本調査の目的及び調査結果が学力や学習状況、生活状況の特定の一部である。
- 学校ごとの児童生徒の学力の結果が明らかになる公表は行わない。
- 本町は、公立中学校が1校であるため、町教育委員会において公表することが、学校単位の公表となるため、中学校の学力の結果は非公表とする。
- 本町の特徴的な課題と改善方策を公表する。

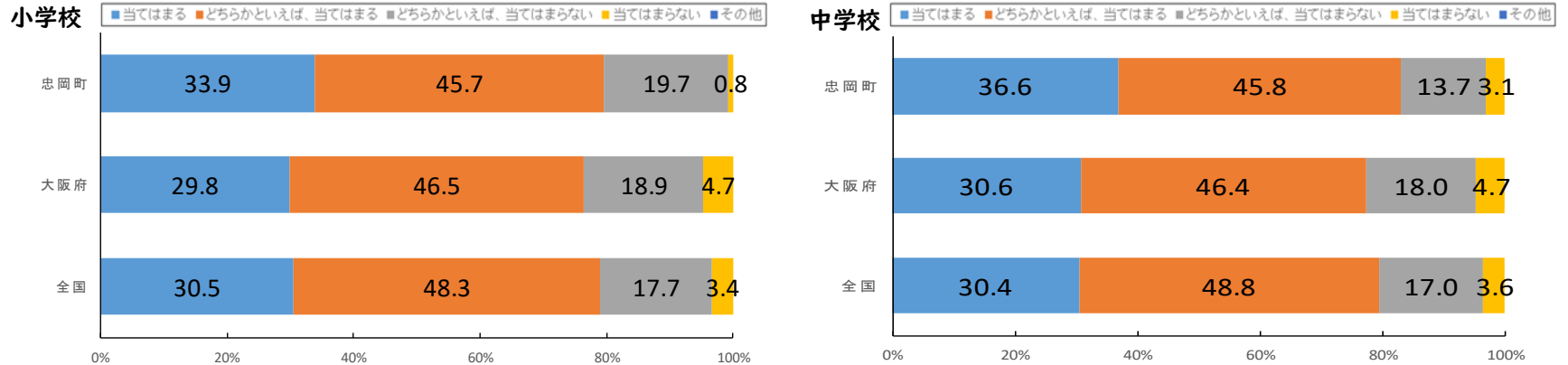
## 全体の概要についてⅠ（学力に関する調査より）

- 【小学校国語】 目的を意識して、中心となる話や文を見つけて要約することは、概ねできている。  
記述式問題の正答率は向上してきているが、複数のグラフや資料から読み取った情報を基に、解答の条件に沿って自分の考えを書くことに課題。
- 【小学校算数】 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取ることは概ねできている。  
記述式の問題について、正答率が全国・大阪府よりも高く、無解答率も減少している。  
正三角形の意味や性質の理解、高さが等しい三角形の底辺と面積の関係の理解に課題。
- 【中学校国語】 「思考・判断・表現」の観点での正答率が、昨年度から向上している。  
文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題。
- 【中学校数学】 数と数式の乗法の計算については、概ねできている。  
事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題。
- 【中学校英語】 リスニング問題について、短い英文から正しい情報を聞き取ることは、概ねできている。  
未来表現の肯定文、疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文、依頼する表現等、正しく書くことに課題。

# 全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町令和5年度の重点取り組みにかかる概要～

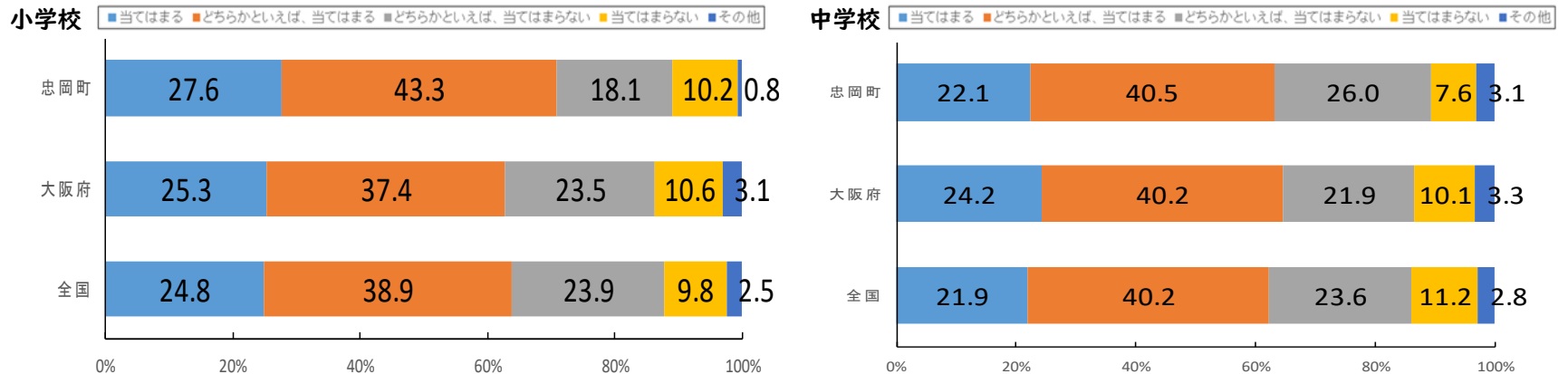
## ①【自ら考え取り組む子を育てる】「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」

肯定的評価「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合は、小学校・中学校ともに全国・大阪府に比べて高く、改善傾向と言える。



## ②【授業で自分の考えをまとめ説明や発表ができる子どもをふやす】「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」

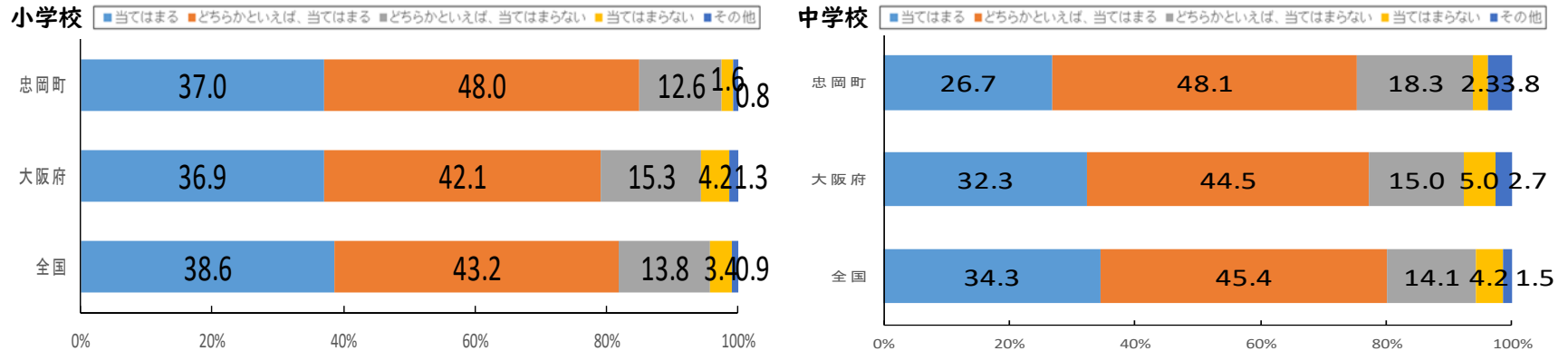
肯定的評価「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合は、小学校において全国・大阪府と比べると高く、改善傾向と言える。



# 全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町令和5年度の重点取り組みにかかる概要～

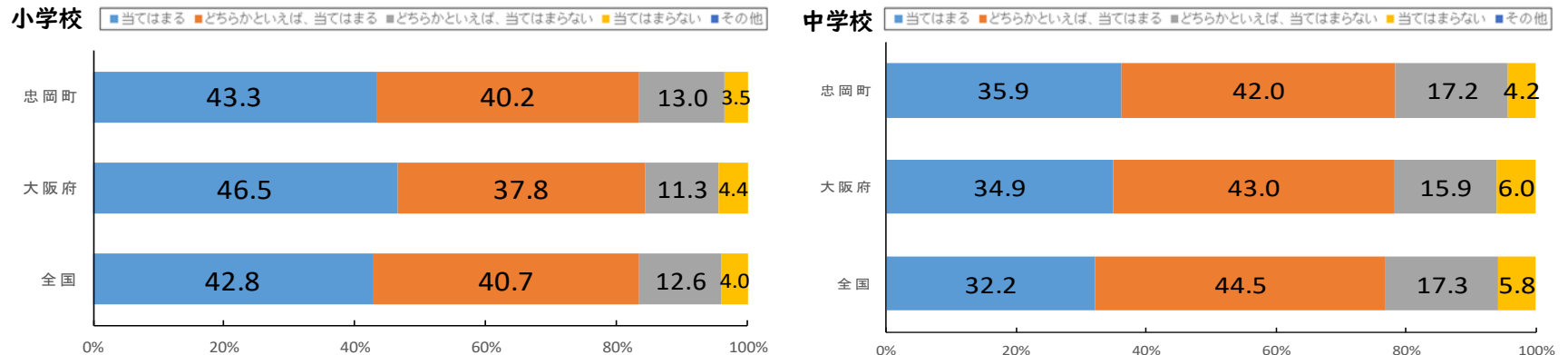
## ③【授業で自分の考えをまとめ説明や発表ができる子どもをふやす】 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」

肯定的評価「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合は、小学校において全国・大阪府と比べると高く、改善傾向と言える。中学校は、やや低く、課題である。



## ④【授業内容がわかる子どもをふやす】 「算数（数学）・国語の授業の内容はよくわかりますか」・・・算数（数学）と国語の合算データ

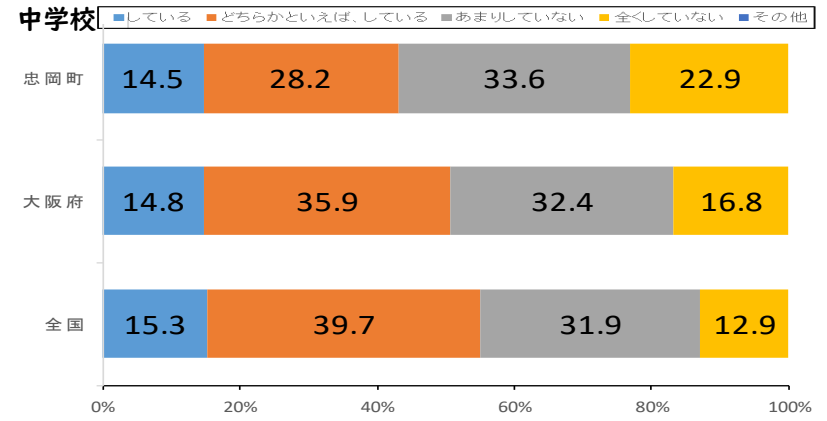
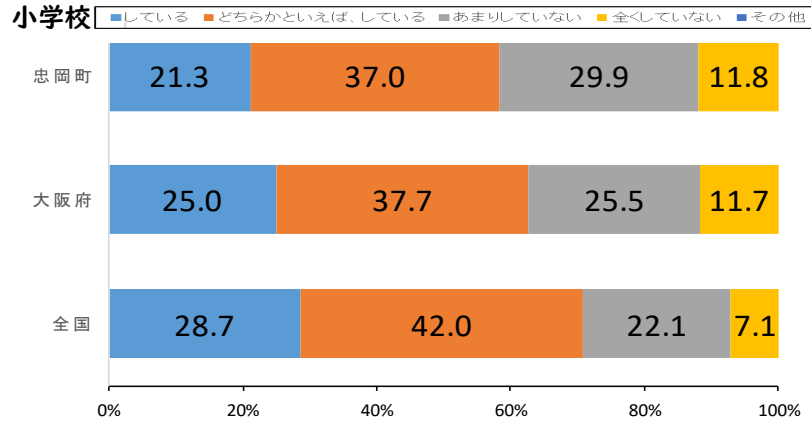
肯定的評価「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合は、小学校・中学校ともに全国・大阪府と比べて大きな差はないが、中学校においては、「当てはまる」の割合が高く、「当てはまらない」の割合が低く、改善傾向と言える。



# 全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町令和5年度の重点取り組みにかかる概要～

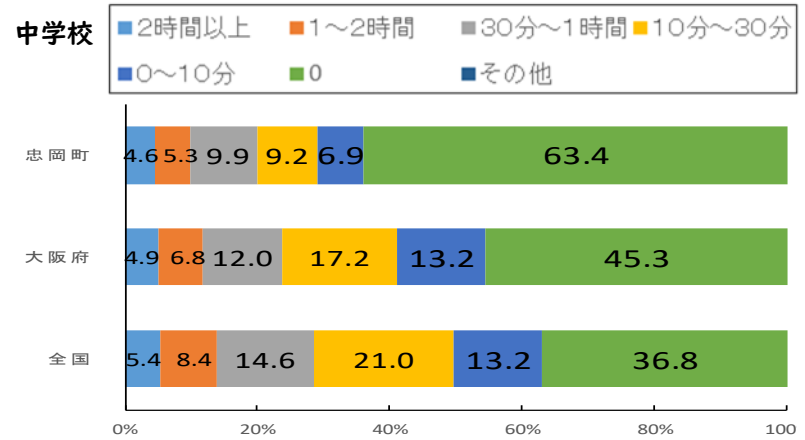
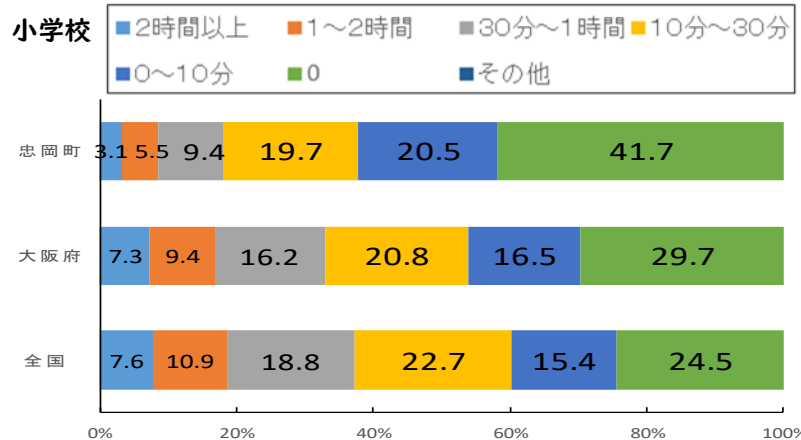
## ⑤【家で計画的に学習する子どもたちを育てる】「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

肯定的評価「している」「どちらかといえばしている」の割合は、小学校・中学校ともに、全国・大阪府と比べると低く、課題である。特に中学校において、「していない」の割合が高く、課題が顕著である。



## ⑥【読書に親しむ子どもたちを育てる】「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか」

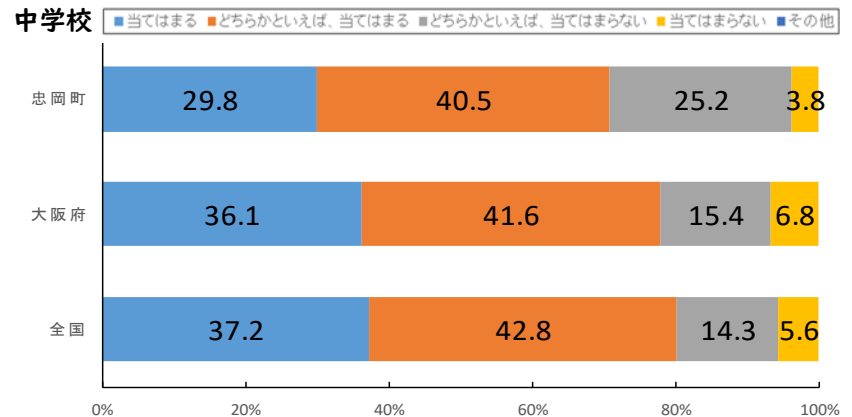
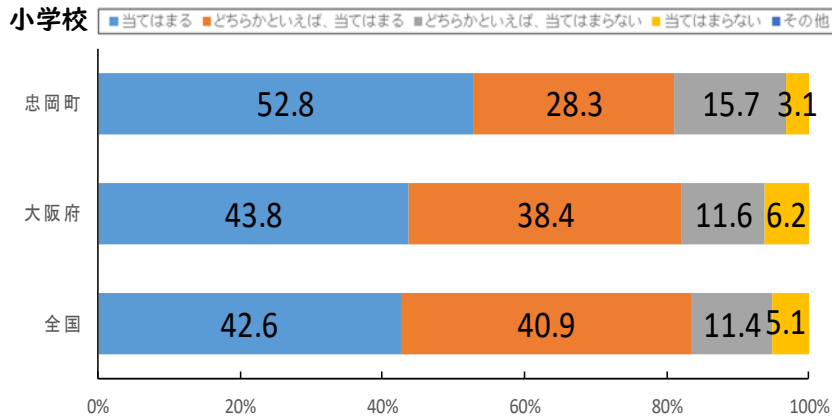
「0分」の割合が小学校で4割、中学校で6割を超え、全国・大阪府と比べても高く、課題である。



# 全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町令和5年度の重点取り組みにかかる概要～

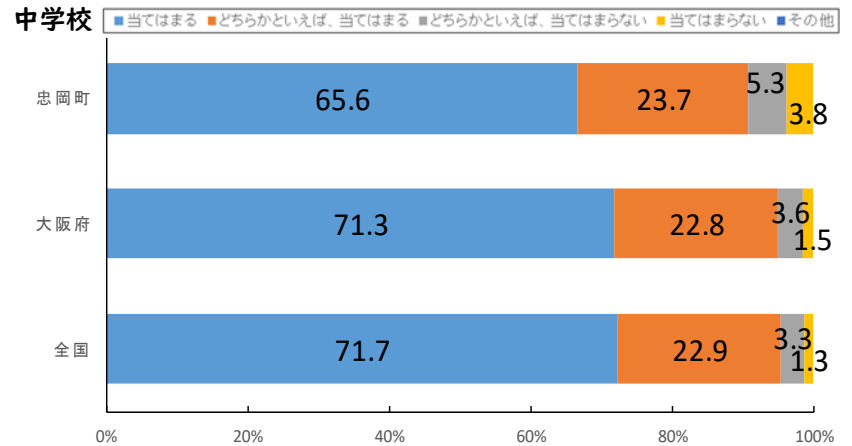
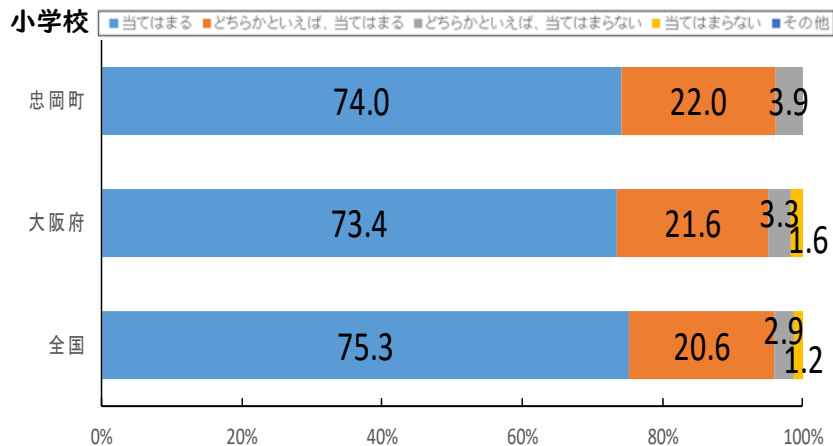
## ⑦【自分にはよいところがあると思う子どもたちを育てる】 「自分には、よいところがあると思いますか」

「当てはまる」の割合が、小学校において、全国・大阪府と比べて高く、改善傾向と言える。中学校においては、肯定的評価「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が低く、課題である。



## ⑧【人の役に立つ人間になりたいと思う子どもたちを育てる】 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」

肯定的評価「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合は、小学校においては、全国・大阪府と比べて大きな差はない。中学校においては、肯定的評価がやや低く、課題である。



## 忠岡町における学力・学習状況に関する施策

- 忠岡町授業改善推進事業（全小・中学校）・・・小・中学校における教育内容の充実と指導方法の工夫改善を図っています。
- 学ぶ楽しさを育む推進事業（小1・2）・・・小学校1・2年生児童に落ち着いた学習環境の提供と基礎的・基本的な内容の確実な定着を図っています。
- 忠岡町きめ細やかな指導のための講師配置事業（全小学校）・・・支援学級在籍児童を含めた1学級の合計児童数が法律に定める基準を超える場合、非常勤講師を配置して、少人数学級編制を実施しています。
- 学力向上サポーター配置事業（小3・4）・・・基礎・基本の定着を図り、「確かな学力」を育むためのきめ細やかな学習支援を行っています。
- 小学校読書活動推進事業（全小学校）・・・小学校に司書を配置し子どもたちの興味関心を高め、本に接する機会を増やしています。
- 学力検査CRT（小3・4）・・・児童の基礎・基本における学習のつまずきの把握と効果的な指導につなげています。
- 小・中学校児童生徒学校生活意識調査〈Hyper-QU〉（小5・中2）・・・よりよい学級集団づくりに向けた課題を把握することにつなげています。
- 授業力向上支援・・・教員の授業力向上に向けた授業観察、及び指導・助言を行っています。
- 授業力向上のための教員研修・・・教科・領域・校種の枠をこえた授業改善と校内研修を活性化につなげています。
- 忠岡町授業改善に向けての連絡会・・・学力にかかわる情報共有と各校における学力向上を推進しています。
- 小・中学校生徒指導連携会議・・・小・中学校の9年間を見通した取組の共有と連携を推進しています。
- 忠岡町英語教育推進事業・・・外部講師による町立小学校2年生の希望者を対象としたイングリッシュレッスンの提供等を行っています。



忠岡町立忠岡小学校

小学校 国語 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。

### 考えられる課題

- 漢字の意味を考えて正しく使う力
- 同じ読みの漢字を正しく使う力

正答率	41.9%
無解答率	4.7%

正答率が、50%未満

### これからの指導の方向性

- 漢字の学習をする際、筆順や字形、読み以外にも、漢字の意味をしっかりと学習させる。
- 同じ読みの漢字の問題をたくさん経験させ、子どもたちに意識させる。

### 課題が見られる設問

1  
三  
―部を漢字でていねいに書きましょう。  
雑草とりを続けたのですが、いがいに  
雑草が生えてきて、とてもこまりました。

小学校 国語 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。

## 考えられる**成果**

- 条件に合わせて文章を書く力
- 目的や意図に応じ、話の内容を捉える力

正答率 72.1%  
無解答率 7.0%

正答率は、  
全国平均より高い

## これからの指導の方向性

- 文章を書く際、条件をつけて書かせることによって、目的を意識して書く力をつける。
- 文章を書く際、一文を短く書くように意識させる。

## 成果が見られる設問

(条件)

○寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを書くこと。

○【インタビューの様子】の寺田さんと山本さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書くこと。  
○書き出しの言葉に続けて、四十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。

3 二 谷さんは、寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを【インタビューの様子】の□で話そうとしています。あなたが谷さんなら、どのように話しますか。次の条件に合わせて書きましよう。

小学校 算数 知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。

### 成果が見られる設問

1(3)いす4きやくの重さをはかると、7kgでした。このいす48きやくの重さは、何kgですか。求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

### 考えられる成果

●式や言葉を用いて記述する力

正答率	69.8%
無解答率	7.0%

正答率が全国平均より高い  
(全国55.5% 大阪府55.2%)

### これからの指導の方向性

●『式や言葉』という表現を平素の学習の「かいけつ」でも使い、『言葉』を使うという解答方法の指示に囚われることなく、『数字や式』を使う等、解答しやすい方法を発見できるように指導していく。

小学校 算数 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

### 成果が見られる設問

4(3)【「0日」についてまとめたこと】と同じように、「1日」に着目してまとめると、どのようになりますか。下の口の中に、「6年生のグラフ」、「5年生と6年生を合わせたグラフ」、「番目」の3つの言葉と数を使って書きましょう。

【「1日」についてまとめたこと】

「1日」に着目すると、次のようなちがいがあります。

### 考えられる成果

●モデルの答え方をもとに、記述する力。

正答率 62.8%

無解答率 16.3%

正答率が全国平均より高い  
(全国56.2% 大阪府53.7%)

### これからの指導の方向性

●今後も、教科書やクラスの児童の記述のモデルをもとに、自分で記述をする力をつける。

## 児童アンケート

### 課題が見られる設問

(17) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。)

### 考えられる課題

● 自主的・計画的に家庭学習をする力

1時間以上が42.2%  
大阪府 49.2%

### これからの指導の方向性

● 学校から出された宿題以外にも、自主的・計画的に取り組む学習を見つけられるように指導していく。

## 児童アンケート

### 課題が見られる設問

(20) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか。(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)

### 考えられる課題

- 読書をする習慣

10分より少ないが57.8%  
大阪府46.2%

### これからの指導の方向性

- 図書委員会と連携した読書啓発の推進
- ビブリオバトル、POPコンテストなど、児童が読書に興味を持つ取組みの推進。

## 児童アンケート

### 課題が見られる設問

(32) 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。

### 考えられる課題

● 話の組み立てなどを工夫する力

発表していたが15.6%  
大阪府25.3%

### これからの指導の方向性

● 発表する前に、ノートなどに自分の考えをまとめてから発表させるようにする。



## 児童アンケート

### 成果が見られる設問

(36)学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。

### 考えられる成果

●普段から話し合いを行う習慣

肯定的意見が91.1%  
大阪府79%

### これからの指導の方向性

●どの教科の学習でも、基本的には話し合う活動を取り入れた学習を進める。

## 児童アンケート

### 成果が見られる設問

(29) 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

### 考えられる成果

● 日常的にICT機器を使用する学習習慣

週3回以上が88.9%  
大阪府52.5%

### これからの指導の方向性

● これからも、学年を超えて活用事例を共有し、ICT機器を使用した学習の機会を増やす。

## 児童アンケート

### 成果が見られる設問

(38) 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか。

### 考えられる成果

● 学習したことを生かそうとする態度・力

肯定的意見が93.4%  
大阪府78.7%

### これからの指導の方向性

● 「ふりかえる」活動の中で、ほかの学習や生活などに生かすことができないかを常に考えながら考えさせるように声掛けをする。

忠岡町立東忠岡小学校

## 小学校 国語 【インタビューの様子】をもとに分かったことをまとめて書く。

### 考えられる課題

- 自分の考えをまとめ、条件に合わせて文章を書く力。
- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手と自分の考えを比較する力。

正答率 64.2 %  
無解答率13.6 %

無解答率が全問中最も高い。この問題を含めた3の設問全体が全国や大阪府に比べて正答率が下回っている。

### これからの指導の方向性

- ・友だちが話す内容を捉え、友だちの考えと比較しながら、自分の考えをまとめてクラス全体に伝えるなど、相手の考えも捉えたうえで自分の考えも広げる活動を設定。
- ・文の組み立ての型を提示する。(結論→根拠など)
- ・文字数制限の中で記述する活動に慣れる。

### 課題が見られる設問

3 二 谷さんは、寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて分かったことをインタビューの様子】の□で話そうとしています。あなたが谷さんなら、どのように話しますか。つぎの条件に合わせて書きましよう。

条件

- 寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて分かったことをかくこと。
- インタビューの様子】の寺田さんと山本さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、四十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。

小学校 国語 【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する。

## 考えられる成果

- 目的を意識して、中心となる語や文を見つける力。
- 話の概要を捉える力。

正答率 90.1%  
無解答率1.2%

正答率が、全問中最も高い。

## これからの指導の方向性

- ・説明文などで、中心となる語や文を見つける活動。
- ・文章の全体構成をとらえたうえで、文を要約する活動。
- ・友だちと自分の書いた文章を読み合い、お互いの意見をまとめる活動。

## 成果が見られる設問

2 1 相田さんが選んだ【資料1】と【資料2】に書かれている内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

小学校 算数 筆算の仕方を説明した図をもとに式を選ぶ。

### 課題が見られる設問

3(4) 【66÷3の筆算】の手順2で十の位にたてた「2」は、上の式のあ、い、う、えのどの計算をした結果を表していますか。1つ選んで、その記号を書きましょう。

$$\begin{aligned} 66 \div 3 &= \underbrace{(60 + 6)}_{\text{あ}} \div 3 \\ &= \underbrace{60 \div 3}_{\text{い}} + \underbrace{6 \div 3}_{\text{う}} \\ &= \underbrace{20}_{\text{え}} + 2 \\ &= 22 \end{aligned}$$

手順2

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \\ 6 \end{array}$$

### 考えられる課題

●各段階の商の意味を考える力。

正答率 38.3%  
無解答率1.2%

正答率が全国、大阪府平均より約10%低い。  
(全国47.6% 大阪府47.3%)

### これからの指導の方向性

- ・答えの数字だけに注目するのではなく、数字の意味を考えさせる活動。
- ・筆算の学習で、筆算が使えるようになることだけを目的とせずに、図や言葉や文章を使いながら、答えの出し方を子どもたちが説明する活動。
- ・正しく計算するとともに、出した答えの意味を考えたり、確かめをする活動。
- ・自分の考えを論理的にまとめた上で理論的に説明する活動。

小学校 算数 テープを2本の直線で切ってできた四角形の名前と、その特徴を選ぶ。

### **成果**が見られる設問

2(1)下のようにテープを直線で切って四角形を作ります。  
どのような四角形なのかを、次のようにまとめます。

あ、い、う、え はどれも①です。なぜなら②だからです。

①にあてはまるものを、1～5までの中から1つえらび、  
②にあてはまるものを6～10までの中から1つ選びましょ  
う。

### 考えられる**成果**

●台形の意味や性質について理解する力

正答率 63.0 %  
無解答率 0.0%

正答率が全国、大阪府平均より高い。続く図形の問題も高い。  
無解答者なし  
(全国59.8% 大阪府60.5%)

### これからの指導の方向性

- ・図形の特性を活かした問題に取り組む。
- ・平面図形や空間図形の特徴を視覚的にとらえ、理解できるようにICTを活用する。
- ・図形の基礎知識をもとに、平行や垂直、角度や面積などの応用問題に取り組む活動。



## 児童アンケート

### 課題が見られる設問

(17)学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。)

### 考えられる課題

●家庭学習の習慣が定着していない児童が一定割合存在する。

1日あたりの勉強時間が全くしない	14.6%
1時間未満	47.5%

### これからの指導の方向性

- ・「全くしない」と回答した児童が14.6%見られたので、引き続きその児童への学習支援を続けるとともに、その児童の保護者へ家庭学習の習慣づけを担任から呼びかけていく。
- ・本校で継続して取り組んでいる「家庭学習チャレンジ週間」「家庭学習の手引き」の取り組みを持続させ、児童への指導、保護者への啓発を進め、主体的・計画的に学習する習慣づけを進めていく。
- ・低学年から、自主学習をする習慣をつけたり、eライブラリなど家庭でインターネットを活用して学ぶ方法を啓発したりして、家庭と連携しながら学習時間を確保していく。

## 児童アンケート

### 課題が見られる設問

(20) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)

### 考えられる課題

- 読書の習慣が身につけていない児童が多い。
- 全体的に読書時間がかなり少ない。

1日あたりの読書時間が全くしない	50%
10分より少ない	14.6%
10分～30分	22.0%

### これからの指導の方向性

- ・ 図書の時間をじっくり本を読む時間にしていく。
- ・ 司書の先生と連携を図り、本に興味関心を持って取り組めるような指導・取り組みを考えていく。
- ・ 本校が取り組んでいる「家庭学習チャレンジ週間」に今後も継続して取り組み、より家庭での読書に対する意識を児童・保護者ともに高められるよう、啓発を進めていく。

## 児童アンケート

### 成果が見られる設問

(32)授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。

### 考えられる成果

●「根拠を持って自分の考えを表現できる力」をつけることを重点組織目標として取り組んでいることで、自分の考えを持って発表する機会などが多くなった。

「発表していた」「どちらかという上发表していた」を合わせて 75.6%  
昨年度より28.9ポイント上昇。

### これからの指導の方向性

- ・本校が取り組んでいる「根拠を持って自分の考えを表現できる力」をつけるためにはどのような授業や取り組みをしていくかを教員一人一人が考え学年や学校全体で共有し、授業の中で取り組んでいく。
- ・自分の考えを持ち、根拠を持って論理的にまとめる力をつける。
- ・主体的に発表し、話し合い活動を行う時間を確保していく。
- ・授業での話し合う活動において、取り組む過程や姿勢を大切に評価していくことで、積極的に話し合い活動に参加し、自らの考えを深めたり、広げたりしようとする意欲を高めていく。

## 児童アンケート

### **成果**が見られる設問

(36) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

### 考えられる**成果**

- ペア・グループ等で話し合う活動を行うことで、より自分の考えと友達の意見とを比べて考えやすくなっている。
- 話し合い活動への積極的な参加が成果として表れている。

- 1 「当てはまる」が 40.2%
  - 2 「どちらかと言えば当てはまる」が 41.5%
- (合計で昨年度より 7.8%上昇)

### これからの指導の方向性

- ・話し合いのルールを低学年から学び、スキルを身につけることで、話し合い活動を多く持ち、自分の意見を出すことに積極性を持たせる。
- ・学び合いにより他の児童との比較により自らの意見を深める機会を持つとともに、互いに認め合い、協力していく姿勢を育てる指導を進めていく。
- ・自分の考えを伝えたり、他者の考えを知る手立てとして、ICTを積極的に活用していく。

## 児童アンケート

### 成果が見られる設問

(4) 自分にはよいところがあると思いますか。

### 考えられる成果

● 縦割り活動などを通して、自己有用感が高くなった。

1 「当てはまる」が	56.1%
2 「どちらかと言えば当てはまる」が	26.8%

昨年度より1・2の合計で15.5%上昇。特に1は昨年度の25%に対して31.1%上昇している。

### これからの指導の方向性

- ・昨年度から取り組んでいる縦割り活動「レインボータイム」の取り組みを通して、成功体験や自分の役割意識を感じられる場を増やし、自己有用感を高める。
- ・毎日の授業の中でも、児童が自己有用感を高められるような活動に取り組み、教室の中が安心できる場になるようにしていく。
- ・児童の自己肯定感を高めていくために、児童の存在自体を「ほめる」ことで、失敗よりも成功に向けて前向きに取り組める子、自らの課題に敢然と立ち向かえる子の育成を目指す。

忠岡町立忠岡中学校

# 中学校 国語 見出しをつけた部分に具体例として示す絵の読解方法を説明する。

## 考えられる課題

- 無解答率(25.4%)が高く、記述問題に抵抗がある生徒が多い。
- 自分の考えが伝わる文章になるよう、根拠を明確にして書くことができていない。

正答率 54.6%  
全国正答率 72.1%

全国と比べ、正答率に  
一番差のあった問題  
(差-17.5%)

## これからの指導の方向性

- 記述に抵抗を感じる生徒を減らすために、感想を書いたり、自分の考えを文章でまとめる活動を意識的に行う。
- 自分の考えが正確に伝わるよう、必ず理由や根拠を述べて文章を書かせるようにする。

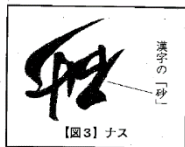
## 課題が見られる設問

3

山田さんは、国語の時間に言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。次は、山田さんが書いているレポートの「下書きの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

四

山田さんは「**判じ絵**」の読解の面白さに「**図3**」としてもう一つ具体例を示して、読解の仕方を説明しようとしています。あなたなら、どのように書きますか。次の候補のA・Bから一つ選び、どちらの候補を選んでもかまいません。」「**図3**」は、「」に続けて、「**図2**」の説明の仕方を参考にして書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。



## 考えられる**成果**

- 目的や場面に応じて質問する内容を検討することができる。
- メモがどういう意図で作成されたものなのかを理解できている。

正答率 85.4%  
全国正答率 87.5%

全国と比べ、正答率に一番差のなかった問題  
(差-2.1%)

## これからの指導の方向性

- 説明文や論説文教材で、序論・本論・結論の構成をしっかりと押さえたうえで、内容を理解させる。
- 事実として書かれているもの、筆者の考えとして書かれているものを区別し、文章の要旨や意図を読み取る活動を行う。

## 成果が見られる設問

1

- 南さんは、総合的な学習の時間に、「社会で働く上で大切なことを考える」という学習に取り組んでいます。インターネットで情報を集めていた南さんは、電化製品を開発している星野さんの記事に興味をもち、会社を訪問して星野さんにインタビューをしました。次の「インターネットの記事」、インタビューの前に準備したメモ、インタビューの様子を読んで、あとの問いに答えなさい。
- 南さんのインタビューの前に準備したメモについて説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。
- 1 インタビューの目的に沿った質問をするために、知りたいことを整理している。
  - 2 質問の内容を相手に明確に伝えるために、言葉遣いや話し方を確認している。
  - 3 見通しをもって話を進めるために、質問に対する相手の答え方を予想している。
  - 4 話題を広げるために、インタビューの目的とは異なる質問を用意している。



## 中学校 数学 四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる。

### 課題が見られる設問

7

	経過日数(日)				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
1961年～1975年	23	34	41	44	51
1976年～1990年	36	46	48	51	61
1991年～2005年	45	49	53	62	72
2006年～2020年	46	63	64	68	71

(1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。

### 考えられる課題

- 四分位範囲を十分に理解することができていない。

正答率 46.9 %  
全国正答率 65.7%

全国と比べ、正答率に一番差のあった問題  
(差-18.8%)

### これからの指導の方向性

- 四分位範囲を理解する上で、箱ひげ図を活用するなど、視覚的に考える必要がある。
- 演習問題や小テストなどに取り組みせ、データ活用問題に触れる機会を設ける。

中学校 数学 数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる。

### 成果が見られる設問

②  $12\left(\frac{x}{4} + \frac{y}{6}\right)$  を計算しなさい。

### 考えられる成果

- 数と式といった数学の基礎・基本が定着している。

正答率 83.1 %  
全国正答率 80.5 %

全国と比べ、正答率の高かった問題  
(+2.6%)

### これからの指導の方向性

- 基本的な計算式を身につけるため、小テストなどで、類似問題に触れながら繰り返し取り組んでいく。
- 計算問題において、無回答数も少ない結果となっている。計算をして終わるのではなく、文章問題や説明する問題につなげる必要がある。

## 中学校 英語 ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する。

### 課題が見られる設問

8 英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。  
これを読んで、以下の問いに答えなさい。

(1)ブラウン先生が最も伝えたいことを、下の1から4までのの中から1つ選びなさい。

- 1 We see many kinds of robots around us.
- 2 I saw a robot and it was working as a guide.
- 3 People will have fun if they live with robot pets.
- 4 Robots can change many people's lives for the better.

正答率 34.4 %  
全国正答率 56.1 %

全国と比べ、正答率に  
一番差のあった問題  
(差 -21.7%)

### 考えられる課題

- 社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができていない。
- 文章に書かれている内容を短い言葉で要約したときに、違う言葉で表現されたものと文章の内容が結びついていない。  
(単語を理解できていない。)

### これからの指導の方向性

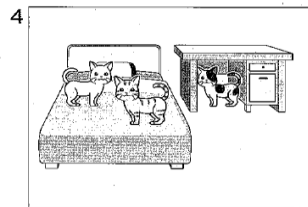
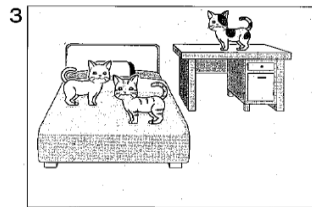
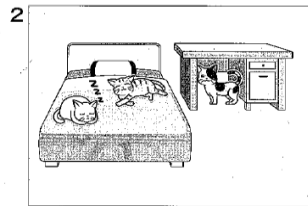
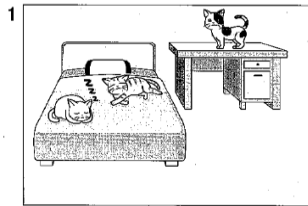
- 短い英文を読ませ、その文章の要点をおさえる練習を行う。  
また、日本語で理解した内容を、英語の文章にまとめる活動を行う。
- 初見で読む文章を増やし、知っている単語から文章の内容を推測する力を養う。

# 中学校 英語 ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する。

## 成果が見られる設問

1 話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。

(1)



## 考えられる成果

- 情報を正確に聞き取ることができている。
- 聞き取った情報と絵をつなげることができている。

正答率 79.4%

全国正答率 79.0%

全国と比べ、正答率の高かった問題

(+0.4%)

## これからの指導の方向性

- 情報を聞き取る練習を重ねる。
- 聞こえた単語や文章をメモするよう促し、聴覚だけでなく、視覚からも情報を理解できるようにする。

## 生徒アンケート

### 課題が見られる設問

(17) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。)

### 考えられる課題

- 家庭での学習時間が30分以下の生徒が、23.6%いる。

3時間以上	13.0%	2時間以上3時間未満	19.8%
全国	10.3%	全国	23.4%
1時間以上2時間未満	30.5%	30分以上1時間未満	12.2%
全国	32.1%	全国	18.0%
30分より少ない	9.9%	全くしない	13.7%
全国	9.9%	全国	6.0%

### これからの指導の方向性

- 家庭学習定着に向け、「テスト勉強ここまでやるぞシート」などを活用し、学習習慣の定着を図っていく。また、キャリア教育を通じて、学習が将来にどうつながっていくのか等、勉強をする意味を位置づけ、学習に取り組ませ、全く勉強をしない生徒を減らしていきたい。

## 生徒アンケート

### 課題が見られる設問

(20) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。  
(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)

### 考えられる課題

- 読書を全くしない生徒が6割以上いる。

3時間以上	4.6%	2時間以上3時間未満	5.3%
全国	5.4%	全国	8.4%
1時間以上2時間未満	9.9%	30分以上1時間未満	9.2%
全国	14.6%	全国	21.0%
30分より少ない	6.9%	全くしない	63.4%
全国	13.2%	全国	36.8%

### これからの指導の方向性

- 読書をすることで、本のいろいろな世界観に出会い、人生をより豊かにするための一つのツールとして考える。読書をすることで、「問題を読む」力にもつながり、長文読解力や無回答数の減少につながり、読書をする習慣の大切さに気づかせたい。

## 生徒アンケート

### 成果が見られる設問

(36) 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。

### 考えられる成果

- 論理的思考力、表現力の向上。
- 班活動の充実。

発表していた	22.1%	どちらかといえば発表していた	40.5%
全国	21.9%	全国	40.2%
発表していなかった	7.6%	どちらかといえば発表していなかった	26.0%
全国	11.2%	全国	23.6%
発表する機会はなかった	3.1%		
全国	2.8%		

### これからの指導の方向性

- 全国平均と比べても肯定的解答の割合が高くなっている(忠岡中学校:62.6%、全国:62.1%)。学校生活全体を通じ、班活動が充実されたことにより、授業等で話し合い活動を行ってきた結果が表れていると考えられる。今後も班活動の充実を図るとともに、仲間づくりを進め、考えを交流するだけではなく、深い学びにつなげていきたい。

## 生徒アンケート

### 成果が見られる設問

(40) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。

### 考えられる成果

- 思考力・判断力の向上。
- 班活動の充実。

当てはまる 26.7%  
全国 34.3%

どちらかといえば当てはまる 48.1%  
全国 45.4%

当てはまらない 2.3%  
全国 4.2%

どちらかといえば当てはまらない 18.3%  
全国 14.1%

生徒の間で話し合う活動を行っていない 3.8%  
全国 1.5%

### これからの指導の方向性

- 全国平均と比べ、肯定的解答が若干下回っているが、昨年度に比べ上昇しており、成果として考える(昨年度:64.8%、今年度:74.8%)。忠岡中学校で継続して取り組んでいる、授業中の話し合い活動や班活動が結果につながっていると考える。今後も取り組みを継続していくとともに、班活動で仲間づくりを進め、話し合い活動の活性化につなげたい。



## 生徒アンケート

### 成果が見られる設問

(9) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

### 考えられる成果

● いじめについての正しい認識。

当てはまる 84.0%  
全国 80.3%

どちらかといえば当てはまる 10.7%  
全国 15.2%

当てはまらない 1.5%  
全国 1.1%

どちらかといえば当てはまらない 3.1%  
全国 2.8%

無回答 0.8%  
全国 0.7%

### これからの指導の方向性

● 肯定的解答が90%を超えており、学校として取り組んでいる「いじめについて考えよう週間」など、活動が生徒自身にしっかり浸透していると考えられる。これからも仲間づくりを進め、いじめはダメという意識だけではなく、安心できる学習環境づくりにつなげていきたい。

## 生徒アンケート

### 成果が見られる設問

(10) 困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

### 考えられる成果

● 教職員との良好な関係を構築できている生徒が多い。

当てはまる 38.2%  
全国 31.2%

どちらかといえば当てはまる 39.7%  
全国 35.2%

当てはまらない 9.2%  
全国 10.7%

どちらかといえば当てはまらない 12.2%  
全国 22.1%

無回答 0.8%  
全国 0.7%

### これからの指導の方向性

● 全国と比べ、肯定的解答が大きく上回っている(忠岡中学校: 77.9%、全国: 66.4%)。教職員と生徒が良好な人間関係を構築できていると考えられる。学期始めの定期面談等で気になる生徒の様子が見られれば、教職員からその都度声かけを行うなど、生徒の困り感に寄り添った関わりを継続していく。